

千歳市市民協働推進会議議事録

会議名	市民協働推進会議（第7期 第1回）		
日時	平成31年4月12日（金） 18：30～20：20	場所	市役所2階庁議室
出席者	委員：15人 市長・企画部次長・秘書課長 事務局：2人（市民協働推進係長、市民協働推進係主任）		

議題	(1) 依頼状交付 (2) 市長講話 (3) オリエンテーション（事務局紹介、自己紹介、市民協働推進会議の概要） (4) 委員長・副委員長の選任 (5) 市民協働推進会議を進めるにあたって（会議のルールについて） (6) 今後の活動（選考審査について、模擬審査） (7) その他
決定事項	(4) 市民協働推進会議の委員長・副委員長を次のとおり選任、決定。 委員長：青木 委員 副委員長：浜 委員 (5) 会議のルールについては、当面、第6期推進会議で運用したルールを適用することとし、適宜見直しを行っていく。

■委員 ○事務局

会議要旨	
(1) 依頼状交付	山口市長から、委員一人ひとりに依頼状が交付された。
(2) 市長講話	『市民協働』みんなで進める千歳のまちづくり』についての講話を行った。
(3) オリエンテーション	委員からの自己紹介、事務局紹介を実施するとともに、事務局から市民協働推進の具体的な取組や推進会議の概要の説明を行った。
(4) 委員長・副委員長選任	以下、発言要旨のとおり ○市民協働推進会議設置要綱では、委員の互選により委員長、副委員長を選任することとなっているが、初めて顔を合わせる方が多いので、事務局案を提示したいが、いかがか。 ■異議なし ○委員長には青木委員を、副委員長には浜委員を提案するが、いかがか。 ■異議なし
(5) 市民協働推進会議を進めるにあたって	○事務局から会議のルールについて、第6期で適用していたルールの概要を説明した。 ■市としてある程度実績を残した方が良いという考えもあるかもしれないが、どのような事業でも採択するということにはしない方が良いのではないかと。建設的な意見をどんどん出

していった方が良いと考える。

○過去に審査をして不採択という事業もあった。

○本事業は、市民の皆さんがやりたいという事業の審査となるので、市がやらしてもらわないといけないというものではない。皆さんの感覚で、承認できないということが推進会議の総意であれば、それは落としていただいてもかまわない。ただ、市民の皆さんがこういうことをやったらまちが良くなるのではないかという想いで提案していただいているので、私たちとしてはできるだけそれを応援したいと考える。附帯意見として改善点は添えることは可能である。

■予算はあるのか。

○申請が上がってくる限りは受けるものである。ただし、予算が厳しくなってきたら、委員の皆さんにご相談する。

■年度の途中で審査基準を変えていくのか。

○年度の途中で審査の基準を変えることについては、先に受けた方と後から受けた方の公平性がとれなくなるので、変更する際は年度替わりのタイミングでと考えている。

(6) 今後の活動について

■一つの審査時間はどれくらいか。

○説明 5 分、質疑 5 分、審査記入 2～3 分程度、集計 2～3 分、意見交換 5 分、合計 20 分程度である。

■市内においてあまり見られないものと項目があり、今市内でどのような事業をしているかについて見られるところはどのようなところか。現在広報誌を見るくらいだが、過去のことかわからないのでどのように審査すれば良いか。

○厳密に他に全く類似がないという観点よりも、普段の生活の中でこれは良い、おもしろい発想という感覚になるもので良いと考える。市内で行っているすべての事業を我々も把握できていない。なので、一つひとつの事業について類似性がないかを皆さまに確認していただくようなものでもない。次につながる良い発想であるというような点で、独創性・先進性を考えていただきたい。事業申請時に、事前に相談をいただき、過去と全く同じ事業をしているときは、申請が難しい旨伝えるし、必要に応じてこの審査会に情報提供は行えると思う。

(7) その他について

以下、要旨

・次回開催は 4 月 25 日を予定。ひと・まちづくり助成事業の選考審査を予定している。